

目標の達成状況等の評価（自然環境整備計画（国立公園整備事業））

都道府県名	神奈川県		対象地域名	富士箱根伊豆国立公園（箱根地域）		評価年度	令和 2 年度	
事業実施期間	平成 27 年度～令和 元 年度		事業費	110,759 千円（うち国費 55,379 千円）				
事業の実施内容	<p>○大涌谷園地整備事業 ・自然研究路再整備工（L=777m） ・休憩所整備工（N=2） ・多言語案内・注意看板整備工（N=48箇所）</p>   							
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況		・多言語案内・注意看板を整備することにより、国際的な観光施設として必要な環境整備を進めることができた。 ・老朽化した大涌谷自然研究路を再整備し、休憩所を整備することにより、利用者の利便性の向上や安全確保を図ることができた。					
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価
			単位		基準年度	目標年度	達成年度	
		国立公園利用者数	富士箱根伊豆国立公園（箱根地域）の利用者数	2,086万人 平成25年度	2,190万人 令和元年度	1,896万人 令和元年度	令和元年度は、台風や大涌谷園地閉鎖の影響で従前値比9.1%減少となった。なお、平成30年度においては2,126万人であり、従前値比1.9%の増加となった。	
その他の指標								
整備に伴う取り組みの実施状況		大涌谷園地へ来るための手段の一つである箱根ロープウェイの駅舎のリニューアルや、駅構内に癒しの休憩スポットを作るなど、観光客を呼び込む取組を行っており、大涌谷自然研究路の整備との相乗効果で、今後の利用者数増加が期待できる。						
今後の取り組み		引き続き国際的な観光施設としての環境整備や老朽化施設の再整備に取り組む。						